

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	615 事務管理経費	会計	01	一般管理
		款	06	農林業費
		項	02	林業費
基本 施策	42 持続的で個性的な農林業を实践する	目	01	林業総経費
		細目	280	事務管理経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	事務管理経費
担当部署	コード	191200	担当者 氏名	馬場 俊行
	名称	農林振興課	連絡先	43 - 2301 (内線) 332

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	緑の募金に参画する市民、みどりの少年隊	※対象件数
成果(どうする)	緑の募金・緑の募金交付金事業に關係する一般事務の執行により、市民の緑化に関する理解が深まる。子供たちが、みどりの少年隊として、地域における自然の中での学習活動、レクリエーション活動等を通じて自然の大切さを学び、地域の自然に親しむことで自然を愛する気持ちや自然に対しての正しい認識ももてるようになる。	
根拠法令・要綱等	伊賀市補助金交付要綱	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	・緑の募金活動 ・緑の募金交付金事業の実施 ・みどりの少年隊育成事業補助金の交付 50,000円×3団体	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
みどりの少年隊の緑の募金街頭啓発活動 参加数	団体	団体	目標	3	目標	3
			実績	2	実績	2
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
緑の募金交付金事業実施団体 数	地域	緑化の推進につながる。	円	目標	10	目標	10
				実績	14	実績	9
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計(A)	237		266		264		264	
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0		0					
一般財源	237		266		264		264	
事業投入人件費(B)	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人	
フルコスト(A)+(B)	957		986		984		984	

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
効果性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
達成度	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
効率的性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
昨年度 の取組状況	予算の繰越の有無 無	緑の少年隊の緑の募金街頭啓発活動については、街頭啓発時に新体制が立ち上がっていない組織もあるが、継続的に参加を呼びかけていく。
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
昨年度の 取組状況	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	引き続き、緑の募金活動や緑の募金交付事業の活用を推進するとともに、緑の少年隊の育成・活動を支援します。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の 取組状況	緑の募金活動、緑の募金交付事業の実施を行なうとともに、緑の少年隊の活動に対し補助を行なった。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	服部 伊久夫
【方向性】	現状維持
【理由】	市民の緑化に対する意識の向上を高め、緑豊かな環境を実現するには、継続的な取り組みが必要である。
現時点における 課題、その他	緑の募金額が減少している。 また、これによる緑の募金交付事業の交付額が減少している。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	緑の募金交付事業による地域の緑化を推進するため、その交付金の資金となる緑の募金に関する更なるPRを行い、募金への意識の向上を図る。